

# 特集 多文化共生を考える

～共に暮らす地域社会を目指して～



1376人

この数字は令和2年8月31日現在、市内に住む外国人市民の人数です。外国人市民は三島市民のおよそ80人に1人という数字です。

近年、我が国では、情報・通信技術の飛躍的な進歩や、観光、ビジネスなどの社会経済状況の変化により国際的な人の流れが活発化し、国籍や民族、文化などの異なる人々との地域での交流の機会が増えてきています。

今、外国人市民を一時的な滞在者として受入れるのではなく、同じ地域に生活する住民として、良きパートナーとして受け入れ、共に地域社会を担う一員として活躍できる多文化共生を推進することが求められています。

問合せ 国際交流室 ☎ 983・2645

多文化共生は…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。(総務省)

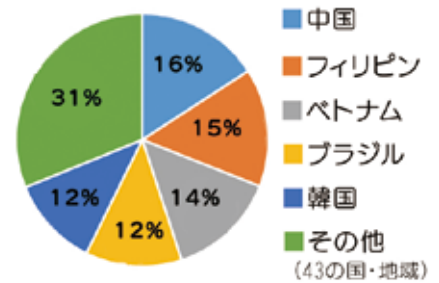
## 三島市の外国人の状況

図1：外国人市民数の推移 (各年度3月31日現在)



ベトナム国籍の人が  
段々と増えている  
傾向があります

図2：外国人市民の国籍割合 (令和2年8月31日現在)



## 私たち、三島で暮らしています ～外国人住民インタビュー～

おう きしん  
王 杰昕さん

中国出身  
来日11年目



7年前から三島市で整体院を運営しています。正月に、一人のお客さんからいただいた自作のおせち料理は、綺麗な箱に食材がぎっしりと詰められていて、種類も多く、盛り付けがとても綺麗で感激しました。日々の生活では、「ごみの分別」は、大変でした。町内の方々丁寧に教えて下さり、また、市からもらった中国語版のごみの出し方を参考にしながら、ごみを出しています。

松枝 ロサミ  
バキヤノさん  
フィリピン出身  
来日25年目



四児の母で、工場勤務をしています。日本は、妊娠してから出産までのプロセスが、検診方法や周産期医療、産後の習慣など、母国と様々な違いがあり大変でした。また、子育て中は、学校からの連絡や、PTA会議など意味がよく分からないこともあり、行き詰まって、故郷のフィリピンに帰った時期もありましたが、近所の皆さんにサポートしてもらい、今は楽しい生活を送れています。

ブイティー スアン  
ティンさん

ベトナム出身  
来日13年目



ベトナムからの技能実習生を支援する団体に勤務しています。自治会の仕事に関わったとき、日本の生活習慣、文化を理解し、日本人の気配りに感銘を受けました。1年中、暖かいベトナム南部出身なので、冬シーズンには、日本から脱出したい気持ちになります。

スギ・ヒガシ・エリク  
スギ・ジャジご夫妻

ブラジル出身  
来日1年目



市内の工場に勤務しています。来日のきっかけは、日本の治安が良くて、貧富の差がないと聞いたこと。また、父母の故郷でもあるからです。今は、町内の方々に親切にいただいています。日本語や日本のルール、文化など覚えることが沢山ありますが、頑張りたいです。

# 外国人住民をサポートしています

## 三島日本語サークル

日本語を学びたい外国人住民を対象に、日本での生活に必要な日本語能力向上支援を軸に国際交流をするボランティア団体です。日本に縁あって住むことになった外国人住民が安心して暮らせることを願い、会員一同真心を込めて学習支援をしています。



▲日本語スピーチ大会

▲浴衣でおしゃべり会

## のびっこクラブみしま

母国の友だちと別れ、ことばが違う国で学ぶことになった子どもたちを対象に日本大学国際関係学部の学生と協働で、日本語や教科学習をサポートしています。毎週土曜日に北小学校で教室を開いていましたが、コロナ禍以降はオンライン会議システムを使って指導をしています。



▲日大生と七夕会



▲学習サポート

## カサ・デ・アミーゴス(友達の家)

生活に困った外国人住民を対象に食糧支援、学習支援、労働・生活相談の活動に取り組んでいます。毎週子どもたちへ学習環境を提供し、スタッフ持参の本などを活用して教えています。また、フードバンクでは、即席麺や冷凍の魚・パンなど多種の食糧を配布しています。



▲学習支援

▲フードバンク

## 外国人住民と交流するときに

## 「やさしい日本語」使ってみませんか

外国人と接する際に不安となるのがコミュニケーションですが、「やさしい日本語」を使うことでよりわかりやすく伝えることができます。外国人はもちろん、子どもや高齢者、障がい者など、いろいろな人に情報を伝える有効な方法の一つです。

### やさしい日本語使用例

- 避難する → 逃げる (に)
- 危険 → 危ない (あぶ)
- 土足厳禁 → くつを脱いでください (ぬ)



がいこくじんのみなさん

じてんしゃのマナーを  
べんきょうしましょう



日時：11月1日(日)午前10時から  
場所：三島商工会議所1階 TMO ホール  
対象：三島市に住んでいる外国人  
三島市で仕事をする外国人  
三島市で勉強する外国人  
定員：15人 ※応募が多い場合、くじ引き  
受講料：0円  
締切り：10月22日(木)  
申込み・問合せ：メールまたは電話にて①住所②  
名前(ふりがな)③電話番号④国籍を  
国際交流室 ☎ 983・2645  
✉ kokusai@city.mishima.shizuoka.jp

## 語学講座受講生募集

時 11月3日(火・祝)～12月15日(火)(週2日・全12回)  
午後7時～8時30分  
※講座日程は、市および協会のホームページに掲載  
場 生涯学習センター  
内 ①中国語入門 ②韓国語入門 ③スペイン語入門  
費 一般4000円、協会員3000円※別途テキスト代  
対 市内在住・在勤・在学の中中学生以上の人または協会員  
定 ①～③各7人(3人未満の場合中止)  
※応募多数時、会員優先の抽選  
日 10月15日(木)必着でメールまたはハガキに、13ページの【基本事項】、会員・非会員の別、受講希望言語、テキスト所有の有無(テキスト名は市および協会のホームページに掲載)を記入し、三島市国際交流協会 ☎ 411・8666 中央町5・5、✉ kokusai@city.mishima.shizuoka.jp  
問 三島市国際交流協会 ☎ 976・1020



◀ English、中文、Português、Español  
Viet nam のチラシ (PDF データ)